

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)千葉市中央区賃貸マンション	階数	地上14F
建設地	千葉県千葉市中央区中央2丁目8-	構造	RC造
用途地域	商業地域	平均居住人員	123 人
地域区分		年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	
竣工年	2023年1月 0.0	評価の実施日	2021年5月26日
敷地面積	651 m ²	作成者	貴志 悟
建築面積	386 m ²	確認日	2021年6月1日
延床面積	4,655 m ²	確認者	貴志 悟



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み #N/A
③上記+②以外の #N/A
④上記+ #N/A

46 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.3

音環境	3.1
温熱環境	2.8
光・視環境	3.6
空気質環境	3.7

Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.1

機能性	3.2
耐用性	3.1
対応性	3.0

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.5

生物環境	1.0
まちなみ	4.0
地域性・	2.0

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.0

LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.5

建物外皮の	4.0
自然エネ	2.0
設備システ	3.8
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 2.7

水資源	2.2
非再生材料の	2.6
汚染物質	3.7

LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 2.6

地球温暖化	N/A
地域環境	2.5
周辺環境	2.8

3 設計上の配慮事項		
総合	住宅専有部において断熱等級4相当の断熱性能により熱負荷抑制に配慮し、ほぼ全面的にLED照明採用によりエネルギー消費削減を計った	その他 0
Q1 室内環境	庇+カーテンレールによりグレアを制御	Q3 室外環境(敷地内) 敷地外周部に緑地を配し、街並みの景観への配慮
LR1 エネルギー	住宅専有部において断熱等級4相当を取得	LR2 資源・マテリアル 分別が容易な工法の採用
		LR3 敷地外環境

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される